

令和 6 年度事業の実施状況について

【令和6年度事業の実施状況】

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財 源 内 訳			
		国庫支出金	起 債	その他	一般財源
生きる力を育むとっとり学校図書館活用教育普及事業	560				560
1 事業の目的、概要 令和4年3月に改訂した「学校図書館活用教育推進ビジョン」及び「学校図書館活用ハンドブック」をもとに就学前から小、中、高等学校まで一貫した見通しを持って学校図書館活用教育の一層の普及を図る。 デジタル化、GIGAスクール構想の進展などの急激な社会の変化に対応し、言語能力や情報活用能力を育成するために、これからの学校図書館活用教育に求められていることについて講義と演習をとおして学ぶことを目的とした研修を実施し、学校現場での図書館活用教育の推進を支援する。 2 事業の内容、実施の状況 ○学校図書館活用教育普及講座 ・「GIGAスクール時代の今こそ、学校図書館の活用を」をテーマに、東中西部の3会場（8月5・6日・8日）で開催。143名参加。 ○学校司書のためのICTスキルアップ研修 ・Basic講座（5月22～24日）57名参加 Fijam講座（5月22～24日）43名参加。 ○学校図書館司書研修会 ・「デジタルアーカイブの活用と学校図書館」をテーマに、11月15日に開催。40名参加。 ○学校図書館司書実務研修会 ・第1回（10月8日）、24名参加 第2回（12月13日）15名参加。 ○学校図書館支援員の研修会派遣 ・大山町立図書館、倉吉市立図書館、東部小学校教育研究会図書館部会等 延べ9回 ○県教育センターとの連携 ・司書教諭研修で学校図書館支援員が講師を務めたり、学校図書館に関する専門研修の講師選定に関わったりした。 ○高校生の読書推進事業 ・「高校生にすすめたい本リスト2024」作成 高校、特別支援学校の学校図書館職員による高校生へのおすすめ本30冊を掲載したリストを作成し、電子データとして県内の高校・特別支援学校へ送付した。あわせて県内市町村立図書館や大学図書館等にも紙のリストを提供した。 ・「すぐできる！情報検索ガイド - 情報検索のためのリンク集 -」、「デジタルパスファインダー」作成 学校図書館を活用した情報活用能力の育成を目的に県立高校司書を中心に作成した。データ化し、生徒各自の端末での利用が可能となっている。 ○全国高等学校ビブリオバトル2024鳥取県大会 12月8日（日）に倉吉体育文化会館で開催。8校11名が参加。 ○授業活用選定用見本図書の貸出 ・学校や各市町村立図書館に紹介。合計7セットを貸出した。 ・全点購入の新刊児童図書(選定用)の利用が多かった。（2, 565冊） 3 事業成果(改善状況)・課題等 ○令和6年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 ・図書館のDX化やICT活用など、教育現場の動きを意識した研修会テーマを設定した。 ・研修を会場参集とリモートのハイブリット開催にしたり、同内容の研修を東中西部各地区で開催したりするなど、より多くの関係者が研修に参加できるよう工夫した。 ・「とっとり学校図書館活用教育推進ビジョン」「学校図書館を活用することで身に付けたい情報活用能力系統表」「学校図書館年間活用計画」について、研修会や訪問相談等の機会をとらえて定期的に周知した。 ・「学校図書館活用年間計画作成のための資料」について、令和7年度の中学校における教科書改訂にあわせて改定版を作成している。 ・学校への訪問相談や市町村への研修派遣を継続し、現場主義の支援を心掛けている。					

○成果及び効果

- ・各学校で学校図書館年間活用計画の策定や見直しが進み、学校図書館を活用することの意義が校内でも周知され、ＩＣＴを活用した実践も見られるようになった。
- ・公共図書館職員と学校図書館職員とが合同で実施する研修が増え開催されるなど、公共図書館と小・中学校図書館の連携につながっている。

○課題

- ・ＧＩＧＡスクール構想の進展による１人１台端末を持つ環境を生かし、学校図書館でもＩＣＴを活用した教育活動の展開を進めていく必要がある。学校図書館のＤＸ化を見据えた資料提供や研修の開催など、学校図書館のサービスを充実させていく支援を継続して行うことが求められる。
- ・学校現場での探究的な学習の充実に資するため、学校図書館の関わり方を改めて定義していく必要がある。学校図書館関係者に留まらず、全教職員の意識を高めるための研修や情報提供を行っていく必要がある。
- ・学校図書館単独ではなく、学校全体として学校図書館をどのように運営していくべきなのかというビジョンを持つ必要がある。その働きかけのために、学校教育課や教育センター、市町村教育委員会との連携を更に密にしていかななくてはならない。
- ・図書館や本の利用に困難さを感じる児童生徒に対し、多様な資料の提供やサービスの充実など読書環境を整えるための方策が必要である。

事業名	決算(見込)額	財 源 内 訳			
		国庫支出金	起 債	その他	一般財源
デジタル化時代の知の拠点づくり事業	25,027				25,027

1 事業の目的、概要

非接触・非来館型サービスの向上及び読書バリアフリーサービスの充実に寄与するため、電子書籍サービスの利用促進に努め、非来館者を含めた県民サービスの向上と新たな利用者の開拓を図る。

また、地域の歴史や文化に関する資料を次世代に伝え残していくため、貴重資料のデジタル化を行うとともに、デジタルアーカイブシステムの充実と利用促進を図る。そのためには、資料のデジタル化を全県的に推進し、貴重な財産を後世へ確かに継承する体制を整える必要があることから、県及び市町村の文化財・観光等の担当者を対象とした研修の機会を設け、デジタル化に関する知識や技術のある人材育成を推進する。

2 事業の内容、実施の状況

＜令和6年度事業に関すること＞

○「鳥取県電子図書館普及キャラバン」の実施(令和6年10月～12月)

- ・電子書籍サービス及びデジタルアーカイブシステム「とっとりデジタルコレクション」(以下「とりデジ」)を全県的に普及・利用促進するため、出前図書館・イベントを県内4か所で実施

○資料デジタル化研修の実施(令和6年11月)

- ・写真・絵葉書・地図等の一枚物を対象とした資料撮影実習及び画像加工実習

＜電子書籍サービスに関すること＞

○電子書籍サービスの運用

- ・利用できる電子書籍：KinoDen(紀伊國屋書店)
- ・利用可能冊数：専門書、学術書、英語多読用資料等 1,938冊
- ・アクセス件数：16,225件(1日あたり59.0件)
- ・県立図書館のカード保有者だけでなく、市町村立図書館や学校図書館のカード保有者も利用可能

○電子書籍サービスの広報

- ・サイトリニューアル(令和6年6月～)
<https://www.library.pref.tottori.jp/search/post-19.html>
- ・伯耆町有線テレビジョン制作番組「勝手に探Q新」への出演
- ・特別資料展「平安時代の物語文学―読み継がれた源氏物語と池田亀鑑―」で、平安文学に関する電子書籍リストを作成
- ・県知事部局との連携(子育て王国アプリへの情報登録、エコトリピーによる情報発信等)
- ・県教育委員会との連携(読書トリピーによる情報発信、「とっとり教育ポータルサイト」への掲載等)

＜「とりデジ」に関すること＞

○「とりデジ」の運用

- ・図書館、博物館、公文書館、埋蔵文化財センターの4館合同システム
公開データ件数：約69万件(うち図書館：約21万5千件)
総アクセス件数：約136万件(うち図書館：約17万件)
※参考…令和6年3月末時点の総アクセス件数：約96万件(うち図書館：約12万件)

○資料デジタル化の推進

- ・郷土資料のデジタル化(第2次五か年計画の2年目)
令和6年度デジタル化予定資料(和本、地図、案内誌等 約100点)
令和6年12月末デジタル化総数：2,424件

○「とりデジ」の広報・研修

- ・アクセス件数100万件到達時に資料提供を行い、活用事例を紹介(令和6年5月)
- ・「鳥取県電子図書館普及キャラバンinイオンモール日吉津」にて「とりデジ」クイズを実施(令和6年12月)
- ・「とりデジ」掲載資料を題材とした図書館員向けくずし字講座(令和7年3月予定)
- ・郷土人物をテーマとした企画展示開催時に「とりデジ」内の郷土人物情報へのリンクを貼付

3 事業成果(改善状況)・課題等

○令和6年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・電子書籍サービスと「とりデジ」を普及するため「鳥取県電子図書館普及キャラバン」として県西部を中心に出向いた。実施にあたっては、遠隔地居住者も市町村立図書館等を経由して県立図書館のサービスが受けられることを周知するため、市町村立図書館・大学図書館職員と協働して運営を行った。
- ・昨年度に引き続き、鳥取県ライトハウス点字図書館と連携し、電子書籍サービスに関するホームページのアクセシビリティ改善に向け検討を行った。当館にどのような電子書籍があるか、スクリーンリーダーを経由しても確実に情報が得られるよう、テキストデータによる資料リストを新たに作成・公開した。なお、当館で対応することのできない「KinoDen」画面上の改善点については、紀伊國屋書店に随時要望を伝えている。
- ・電子書籍の広報にあたっては、県庁各課にも情報提供を行い、より広い層に向けて情報発信を行っている。
- ・デジタル化を担う人材育成のため、県・市町村の図書館、文化財担当者を対象とした研修を実施した。
- ・昨年度に引き続き、くずし字講座の成果(翻刻文)をテキストデータ化し、「とりデジ」に掲載する予定。

○成果及び効果

- ・「鳥取県電子図書館普及キャラバン」の実施により、非来館者層を含む多くの方に電子書籍サービス及び「とりデジ」を広報することができた。また事業に協力いただいた市町村立図書館・大学図書館の来館者数やweb利用者登録件数が増加するなど、相乗効果が得られた。
- ・令和6年5月に「とりデジ」へのアクセス件数が100万件に到達した。令和6年12月までのアクセス件数は約136万件（うち図書館資料へのアクセス累計は約17万件）となり、年々アクセス数が伸びている。
- ・昨年度に引き続き、郷土資料のデジタル化を進めている。
- ・資料デジタル化研修は業務委託で行ったが、受託企業としても「撮影実習に特化した全県集合型研修」の実施例はこれまでになく、今回の研修内容は全国モデルとなり得るものとなった。
- ・資料デジタル化研修やくずし字講座等の開催により、県内の図書館員や関係者がデジタル化に必要な基礎知識の習得に向かっており、資料デジタル化の必要性や重要性を認識いただいている。
- ・本事業に関連した報道機関からの取材依頼が多くあり、電子書籍サービスと「とりデジ」のいずれも、資料紹介や活用方法等について、複数の新聞記事やテレビ番組に取り上げられた。

○課題

- ・電子書籍サービスと「とりデジ」の認知度をさらに高めるため、新規利用者の開拓が見込まれる大学や商業施設での実施、県主催事業への参加等、図書館の枠組みにとらわれない広報手段を検討する必要がある。
- ・電子書籍サービスがあらゆる利用者に対応しより使いやすいものとなるよう、音声読み上げ対応のコンテンツを充実させるとともに、県民の意見を伺いながら引き続きアクセス改善及び紀伊國屋書店への要望を行う必要がある。
- ・デジタルパスファインダー等の教材開発をさらに進め、県民の教育文化・観光・研究等への利活用を推進する必要がある。
- ・「とりデジ」システム更新時期が令和8年3月に迫っており、参加館と協議の上、仕様を確定させ調達業務を滞りなく進める必要がある。
- ・市町村立図書館や大学図書館等、関連機関との連携を進めコンテンツの充実を図りつつ、システム更新後の「とりデジ」に現参加館以外の機関が新たに参加可能とするための体制を構築する必要がある。
- ・資料のデジタル化を推進し、貴重な財産を後世へ確かに継承する体制を全県的に整えるため、資料の適切な保存管理及び活用等の実務を担う人材育成を行う必要がある。加えて、関連機関に対しては、自館におけるデジタル化実務の進捗状況などを確認するためのヒアリングを行う必要がある。

事業名	決算(見込)額	財 源 内 訳			
		国庫支出金	起 債	その他	一般財源
仕事とくらしに役立つ図書館推進事業 (くらしに役立つ図書館推進事業)	7,246				7,246
1 事業の目的、概要 図書館が所蔵する多様な資料や専門職としての司書の能力を最大限に生かし、地域の情報拠点として県民の情報要求に応え、県民の生活課題に即した情報提供を実現する。 2 事業の内容、実施の状況 <読書バリアフリー推進・普及のための図書館サービス事業> ○鳥取県読書バリアフリー推進に係る関係者協議会 「鳥取県視覚障がい者等の読書環境の整備の推進に関する計画」に基づく鳥取県の読書バリアフリー推進事業等の取組状況等について、事業等の評価や進行に関する有識者等の意見を聴取することを目的として開催した。 ○手話で楽しむおはなし会の開催 ○バリアフリー映画上映会の開催 ○はーとふる図書館ツアー（視覚障がい者等を対象とする図書館ツアー）の開催 ○アクセシブルな書籍等所蔵数 令和6年度18,349点 令和5年度17,995点・・・354点増（令和6年12月末現在） ○アクセシブルな書籍等貸出数 令和6年度14,683点（令和6年12月末現在） ○障がい者サービス用機器の整備・充実 ・デジター図書再生機、据置型拡大読書器の購入 ・リーディングルーペ、リーディングトラッカーの購入 ○展示 ・世界自閉症啓発デー、発達障害啓発週間（3月1日～4月10日） ・広げよう♪あいサポート運動（12月2日～12月20日） ・バリアフリー映画上映会関連展示（3月1日～30日） ○その他 ・読書バリアフリー啓発パネルの貸出（公共図書館4館、高校2館、特別支援学校1館 計7館） <医療・健康情報の提供> ○館内表示を考えるワークショップ（認知症本人ミーティング）の開催 ○出前図書館（「鳥取市認知症フォーラム2024」、「看護職員実習指導者養成講習会」、「もの忘れ、認知機能の出張無料相談会」） ○展示「気になる！健康食品、サプリメント」（4月）、「”がん検診に行こう”パネル展」（7月）、「認知症になっても暮らしやすいまちづくり」（9月）、医師会連携展示（毎月）ほか ○県立中央病院、県立厚生病院のほっとこーな一管理（1か月ごとに入替） <高齢者サービス情報の提供> ○「デジタル機器を利用した情報収集講座」の開催 市町村立図書館と共催で、情報機器（スマートフォン、タブレット）を利用した情報収集方法について学ぶ講座を開催した。（10月23日）倉吉市立図書館、（11月22日）米子市立図書館、（12月19日）鳥取市立中央図書館 ○あたまイキイキ音読教室の開催 ○「いきいきライフ応援コーナー」の運営 <「サポートの必要な家庭」応援事業> ○とっとり孤独・孤立対策官民連携プラットフォームへの参加 県立図書館と県内市町村立図書館から成る鳥取県公共図書館協議会として、令和6年9月から参加。 ○出前図書館（「とっとり県民カレッジ講座「地域をつなぐ「子どもの居場所」」） ○展示「みんなで支えあう社会へ」（5月）「里親制度について知っていますか」（10月）「ストップ！DVなくそう！児童虐待」（11月）					

<法情報・困りごと解決支援情報の提供>

- 「法テラスの日」記念 休日無料電話法律相談会
- 関連機関と共同で相談会(会場：県立図書館)
- 労働セミナー共催(会場：県立図書館) 3回
 - ・ 関連図書の展示

<子育て応援情報の提供>

- 託児サービス「託児で来ぶらり」
- 「子育て応援コーナー」の管理
 - ・ 子どもと一緒に来館した利用者が子育てに必要な情報を1か所で得られるよう、児童図書室の入口にコーナーを設置している。(令和6年度貸出冊数 2, 290冊)

<豊かな心をはぐくむ子どもの読書応援事業>

- 児童サービス専門講座の開催
 - ・ 年1回県外講師を招聘し、児童書や児童サービスについての理解を深める講座を実施。
- 児童サービス実務研修の開催
 - ・ 年3回県内講師を招聘し、ストーリーテリング、絵本の読み聞かせ等の実技を中心に、児童サービスの基礎についての研修を市町村立図書館との共催で実施。
- 各種おはなし会、こども向けイベントの開催

名称	内容・期日等		参加者等
こども読書週間	4月12日(金)～5月30日(水) しおりや豆本を自由に作れるコーナーの設置や本や図書館にまつわる展示を実施。		—
夏休み図書館まつり	8月 2日(金)	図書館たんけん隊	23名
	8月 3日(土)	海のおしごとについて知ろう！	23名
「えほんのじかん」	毎週火曜日開催	320名(大人151名、子ども169名)	
「おはなし会」	第4を除く日曜日	子ども108名	
「大人も楽しむおはなし会」	毎週土曜日	104名(大人48名、子ども56名)	
新刊児童図書の選定用貸出	市町村立図書館等へ貸出		2, 565冊
「ドリームティーンズコーナー」			
・10代青少年の問題意識や興味に沿った資料収集やコーナー展示を実施、ホームページや通信の発行等による情報発信を行った。			
展示テーマ：「こたミス！第6弾」		(貸出冊数	221冊)
「みらい☆予想図」		(貸出冊数	174冊)
「Rスポーツ」		(貸出冊数	136冊) ほか
・「児童×ドリームティーンズ」(児童書から10代向けの読み物への橋渡しとなるよう、登場人物が概ね中学生以上の児童書を配架したコーナー)			
		(貸出冊数	1, 498冊)
時宜に応じた児童図書室の資料展示を実施。			
展示テーマ：「あめをたのしもう♪」		(貸出冊数	389冊)
「夏だ！夏だ！！」		(貸出冊数	627冊)
「みんなだいすきクリスマス」		(貸出冊数	656冊) ほか

3 事業成果(改善状況)・課題等

○令和6年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・ 令和2年度に策定した「鳥取県視覚障がい者等の読書環境の整備の推進に関する計画」(鳥取県読書バリアフリー計画)や、図書館の読書バリアフリーの取組や障がい者に配慮した様々な資料や機器について周知・啓発するため、関係機関等と連携し「子どものための福祉機器展」等で資料や機器を紹介し貸出を行う出前図書館を行った。また、新たに鳥取県視覚障がい者東部支援センターと連携し、視覚障がいの方や支援者の方を対象とした図書館ツアーを開催することで、視覚障がい当事者や支援者へのは一とふるサービスの周知に努めた。
- ・ かねてからの課題である読書バリアフリーやは一とふるサービスの広報について、県政テレビや新聞等では一とふるサービスや読書バリアフリーの広報に努めた。
- ・ 昨年度の認知症本人ミーティングでいただいた提案を基に、館内標示作成のためのワークショップを実施した。現在の館内標示が見づらいと想定される関係者団体への意見聴取も実施し、多様な来館者にとって利用しやすい図書館となるための環境整備に取り組んだ。

- ・コロナ禍で中断していた看護職員実習指導者養成講習会（鳥取県看護協会）への出前図書館を再開した。当館のサービス紹介をする時間をいただき、看護関係の資料や電子書籍等について紹介した。
- ・当館で実施していた高齢者対象のデジタル機器を利用した情報収集講座を、学びなおしに取り組む方まで対象とし、県東中西部の3館と共催で実施した。講師は当館と共催館の職員が務めた。各館で実施する際役立てていただけるよう、今後自由に利用できる講義資料とした。
- ・音読教室について、「音読リーダー」が中心となって進行する運営方法に変更し、参加者に活躍していただく機会が増えた。
- ・とっとり孤独・孤立対策官民連携プラットフォームへの参加や連携展示などを通じて、関係機関との連携を進めることができた。
- ・児童サービス専門講座では、「未就学児と本をつなぐ―豊かな未来のために」をテーマに、県外講師を招いて児童書や児童サービスについて理解を深める講座を開催した。幼稚園、こども園、学校、行政関係、公共図書館と多くの所属からの参加があり、一緒に学び合う貴重な機会となった。
- ・児童サービス実務研修では、特に初めて児童サービスを担当される方が、実践や意見交換を通じて互いに学び研鑽し合うことで県内各図書館における児童サービスのさらなる充実につながるよう、子どもと本をつなぐ手法や児童サービスの基礎について学ぶ研修を開催した。第1回は「ブックトーク（入門編）について」、第2回は「ブックトーク（実践編）について」をそれぞれ市町村立図書館と共催で開催した。
- ・ガイナレ鳥取のホームゲームで読み聞かせと出前図書館を実施し、当館の取組について広く県民の方に知っていただけるよう取り組んだ。

○成果及び効果

- ・LD等専門員連絡会でのサービス説明や老人クラブ連合会理事会への出前図書館を新規に実施し、高齢者団体や特別支援教育関係者等へ読書バリアフリーを知っていただくきっかけとなった。
- ・令和7年度で計画最終年を迎える「鳥取県読書バリアフリー計画」について、現時点評価（計画中間年となる令和5年度までの評価）を実施し、取組の進捗状況と今後へ向けた課題等を把握することができた。
- ・「デジタル機器を利用した情報収集講座」では、Myライブラリの機能や便利なWebサイトについて知ることができてよかったという感想をいただいた。当館以外の図書館で開催したことで、日頃当館に足を運ぶ機会がない県民の方にもサービスを提供することができた。
- ・看護職員実習指導者養成講習会では、電子書籍をはじめとした当館のサービスに興味を持っていただき、ほぼすべての参加者が利用者登録をされるなどの反響があった。
- ・おはなし会や図書の企画展示、おすすめ本の紹介などの活動は、より親子で本を楽しむことや子育てに読み聞かせを取り入れることの良さが認知されることにつながっている。

○課題

- ・県内の障がい者サービスの実態を把握し、障がい者サービスの一層の周知及び市町村立図書館との連携を強化することにより、県内全域の障がい者サービスの更なる充実を図る必要がある。
- ・読書に困難さのある方々を支援する資料や機器について広く周知し、支援する側の方も含めた読書バリアフリーを推進していく必要がある。
- ・「鳥取県視覚障がい者等の読書環境の整備の推進に関する計画」を一般県民や関係者等に周知するとともに、計画改訂へ向けて当事者、関係者等と意見交換しながら、改訂作業を進めていく必要がある。・課題を抱える利用者を信頼性の高い情報や相談窓口に円滑につなげることができるよう、医療・健康分野、福祉分野の関係機関との連携を引き続き進めていく必要がある。
- ・県内の医療・健康情報サービスの実態を把握し、医療・健康情報サービスの一層の周知及び市町村立図書館との連携によるサービスの充実を図る必要がある。
- ・おはなし会をはじめ、当館が行っている子どもと本をつなぐための取組や、託児サービス等の子育て応援サービスについて、改めて周知を図り利用を促す必要がある。

事業名	決算(見込)額	財 源 内 訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
仕事とくらしに役立つ図書館推進事業 (図書館ビジネス支援推進事業)	(再掲) 7, 246				(再掲) 7, 246
1 事業の目的、概要					
県全域での図書館のビジネス支援体制を推進するため各地域の図書館と協力し、全域でのビジネス支援サービスの定着、利用者の掘り起こしに取り組む。産業振興や雇用を創出することは地域活性化を考えるうえで極めて重要な課題であり、商工団体、産業支援機関との連携を強化し、図書館の機能を生かしたビジネス支援を積極的に行っていく。					
2 事業の内容、実施の状況					
○図書館で夢を実現しました大賞の募集					
○図書館で夢を実現しました大賞・表彰式の開催(3月上旬を予定)					
○ビジネス支援サービス20周年記念Bizフォーラムの開催(3月上旬を予定)					
○「夢・実現スタートアップ創業勉強会」の開催					
※INPIT知財総合支援窓口から商標についての紹介。相談会にも同席した。					
○「としょかんビジネストーク」ホームページへの追加掲載(準備中)					
掲載開始日		令和7年3月上旬の公開を予定			
URL		http://www.library.pref.tottori.jp/business/cat6/new.html			
掲載企業		5社を予定			
※図書館で開催する各種相談会・セミナー・資料相談等で得た情報を、起業・経営等に役立てご活躍されている事業者インタビューを行い、記事をホームページに掲載した。					
○商工労働関連研修会、イベントへの出前図書館等の実施(6回)(4～3月)					
○知財・ビジネス合同相談会の定期開催(会場：県立図書館)(4～3月)					
・県立図書館司書と「INPIT 知財総合支援窓口コーディネーター」と「弁理士」、「鳥取県よろず支援拠点」の相談員による相談会。相談者が求める知財・ビジネス情報の検索は司書が行い、知財に関する相談は「INPIT 知財総合支援窓口コーディネーター」と「弁理士」が行う経営相談は鳥取県よろず支援拠点の相談員が行う。					
○起業・経営なんでも相談会の定期開催(会場：県立図書館)(4～3月)					
・県立図書館員は相談内容に応じて資料を事前準備する。相談は鳥取県中小企業診断士協会の中小企業診断士が行う。					
○創業融資相談会の定期開催(会場：県立図書館)(4～3月)					
・県立図書館員は相談内容に応じて資料を事前準備する。相談は日本政策金融公庫の職員が行う。					
○県立図書館と産業支援機関との連携事業					
・高校生ビジネスプラン作成講座の開催(日本政策金融公庫との共催)					
・「貿易実務講座」の開催(ジェトロ鳥取との共催)					
○企画展示「鳥取県認定グリーン商品リレー展示2024」の開催					
内 容		鳥取県認定グリーン商品リレー展示2024			
展 示 物		鳥取県認定グリーン商品の実物展示、紹介パネルの展示など			
主 催		鳥取県認定グリーン商品普及促進協議会			
展 示 館		12館(県立1館、高等学校10館)			
期 間		9月5日(木)～2月26日(水)			
展 示 館		展 示 期 間			
(県立図書館)					
鳥取県立図書館		令和7年1月4日(土)～1月19日(日)			
(高等学校図書館)					
倉吉農業高等学校		9月5日(木)～9月19日(木)			
米子西高校		9月12日(木)～9月26日(木)			
米子白鳳高校		10月23日(木)～11月20日(木)			
鳥取工業高校		10月18日(金)～11月15日(金)			
鳥取中央育英高等学校		10月31日(木)～11月14日(木)			
鳥取湖陵高校		11月27日(水)～12月11日(水)			
湯梨浜学園高校		11月27日(水)～12月11日(水)			
倉吉西高等学校		令和7年1月15日(水)～1月29日(水)			

倉吉総合産業高校	令和7年1月29日(水)～2月12日(水)
倉吉北高校	令和7年2月12日(水)～2月26日(水)

※循環資源を活用した製品の展示物とともにグリーンイノベーション・SDGs・カーボンニュートラルなどとリンクさせ、関連図書等を図書館で展示した。

3 事業成果(改善状況)・課題等

○令和6年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・ジェトロ鳥取との連携によるセミナーを昨年度に引き続き行った。
- ・ビジネス支援を周知するためのチラシの内容を昨年度改訂し、引き続き広報に活用した。
- ・相談会を共催する機関と意見・情報交換を行い、意思疎通を図った。
- ・講座等の開催に際しては、市町村立図書館と協力し、事前準備・役割分担等を行った。
- ・講座や出前図書館等で参加者へ県立図書館や市町村立図書館のビジネス支援について周知した。

○成果及び効果

- ・継続的な相談会や各種行事を行うことで、着実に創業や経営に必要な情報を提供でき、図書館のアドバイスを活用してビジネスを立ち上げた事例が生まれ、地域企業の創業や経営を後押しできた。
- ・第6回図書館で夢を実現しました大賞を公募した。具体的な成功事例を集めることができた。
- ・「夢・実現スタートアップ創業勉強会」を鳥取県よろず支援拠点及び米子市立図書館・倉吉市立図書館と連携して開催し、参加者へ創業のノウハウを学んでいただくことができた。また関係機関との連携が強化できた。各図書館からも情報提供を行い、図書館が情報収集に役立つ場であることを効果的にPRできた。
- ・「ビジネスプラン作成講座」は今年度も米子市立図書館会場を加えた2会場で開催し、西部地区の高校生にもビジネスアイデアの発想法や図書館の活用法について学べる機会を作ることができた。
- ・積極的に出前図書館で図書館活用説明を行った結果、新たな利用者層が図書館を利用するきっかけとなった。
- ・産業支援機関の職員が調査のため、の電話やメール・直接来館し、資料相談を利用している。図書館のビジネス支援機能への理解が進みつつある。

○課題

- ・無料の相談会があることや関連団体を紹介できること、商用データベースの利用等、図書館のビジネス支援機能を広く県民に知ってもらえるような発信を地域メディアやSNSを活用して認知度を高める積極的・魅力的に行う必要がある。
- ・市町村立図書館員に図書館におけるビジネス支援の重要性を伝え、専門性関心を高めるとともに、講座やセミナー、出前図書館等を市町村立図書館と連携して実施しながら運営方法、機材等の情報共有を行い、中西部地域でもビジネス支援サービスを拡大していく必要がある。
- ・当館で行ったビジネスに関する展示等を県内図書館や学校図書館等で行い、図書館のビジネス支援機能に係る認識を広め、活動を県内に浸透させていく必要がある。

事業名	決算(見込)額	財 源 内 訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
郷土情報発信事業	2,177			121	2,056
1 事業の目的、概要 郷土資料(地域資料)の収集・保存を進め、後世へ伝えるとともに、郷土資料の普及・啓発、郷土関係文学者情報の発信等を行い、利用促進を図る。 2 事業の内容、実施の状況 鳥取県の歴史・文化、文学、郷土出身人物等に対する県民の関心を高めるため、関係機関、団体とも連携しながら、資料展、講演会等を有機的に組み合わせて開催した。 ○ふるさとの歴史再発見事業 ○郷土文学者情報発信事業 ○その他の企画展示等 3 事業成果(改善状況)・課題等 ○令和6年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 ・特別資料展「平安時代の物語文学―読み継がれた源氏物語と池田亀鑑―」では、大河ドラマのテーマである「源氏物語」を取り上げ、当館所蔵の貴重資料(写本・刊本等)や源氏物語研究の大家である池田亀鑑(日南町出身)について知っていただく機会とした。期間中には、当館学芸員によるギャラリートークを4回行った。 ・特別資料展関連の郷土文化講演会「平安文学の人物像について - 史実に相照らして」でも、平安文学の登場人物を取り上げ、理解を深める機会とした。また、当館学芸員による池田亀鑑の紹介も行った。 ・鳥取県を発信する企画展示を、様々な社会的話題をテーマとして実施した。 ・とっとりデジタルコレクション掲載の文学作品の翻刻に取り組んだ。 ・公的機関、県民活動による団体との連携により、地域に関わる歴史、文化事象を発信した。 ・郷土資料の水害対策について、救出する資料の優先順位について基準の検討を始めた。 ・市町村立図書館職員向け講座や行政職員向け研修(主催：鳥取県職員人材開発センター)で郷土資料の活用についての講義を行った。 ・中国五県の県立図書館郷土資料担当者会(岡山県開催)に参加し、各県の現状や諸問題について情報交換を行った。 ○成果及び効果 ・特別資料展・郷土文化講演会は関心の高いテーマとしたため来場者が多く、貴重資料や郷土出身人物について発信することができ、県民の有意義な学びの機会となった。 ・また、郷土文化講演会は会場を当館のほかサテライト会場の設置及びオンライン配信も行い、多くの人に参加していただく機会を提供できた。 ・企画展示等でも関係機関等との連携も行い、鳥取県の歴史・文化・人物等の情報を様々な視点から発信することができた。特に、日本人初の女性弁護士の一である中田正子氏の展示では、関連資料の貸出や、とっとりデジタルコレクションに掲載中の郷土人物データベースなどのアクセスも多数あり、多くの方にご利用いただくことができた。 ・今年度もとっとりデジタルコレクション掲載の文学作品の活字化に取り組み、翻刻文を公開することにより、幅広い世代が鳥取県の文学への興味関心を高め、また、研究や学習等の一助となると思われる。 ・県民及び図書館職員対象の事業を開催することにより、県内全域への郷土資料の周知と活用が期待される。 ・中国五県の県立図書館郷土資料担当者会に参加し、今後の参考になる郷土資料の収集や保存方法、発信方法などについて他館の取組を知ることができた。 ○課題 ・今後も郷土資料の収集・整理、郷土情報の蓄積を行い後世に伝えていくとともに、県民が鳥取県に愛着や誇りを持てるような取組を積極的・魅力的に行っていく必要がある。 ・これまでに県立図書館が行った展示等を外部でも行ってもらうなど、県内公共図書館・学校図書館、関係機関等と連携し、県内全域に郷土情報の周知と活用を促進していく必要がある。 ・郷土資料の保存環境の点検を行い、災害等で滅失・破損等しないよう対策を強化するとともに、郷土資料のデジタル化を推進し、利活用の普及啓発に努める必要がある。					

事業名	決算(見込)額	財 源 内 訳			
図書館国際交流事業	4,800	国庫支出金	起債	その他	一般財源
					4,800

1 事業の目的、概要

環日本海諸国(韓国・中国・ロシア・モンゴル)の原書やその地域について記述された日本語図書の収集・提供を行うとともに、様々な事業を通じて鳥取県(県民)と環日本海諸国との交流を促進する。また、英語教育や国際理解教育の推進等世界で活躍する人材育成につながる情報収集・提供に努める。

2 事業の内容、実施の状況

○環日本海諸国の図書館図書交換事業

- ・協定を結んでいる環日本海諸国の図書館との図書交換は以下のとおり。

中国河北省		韓国江原道		ロシア沿海地方		モンゴル	
河北省図書館		春川市立図書館		・ゴリキー図書館 ・沿海州児童図書館		中央県D. ナツアグドル ジ記念公共図書館	
送付	受領	送付	受領	送付	受領	送付	受領
116冊	未着	149冊	101冊	—	—	20冊	20冊

※ロシア沿海地方(ゴリキー図書館、児童図書館)については、県がロシアとの交流を凍結しているため、送付を見送っている。

○関係諸国の資料整備

- ・環日本海交流室・国際交流ライブラリーの閲覧用資料を購入

(図書642冊、雑誌38種、新聞4種)

○国際交流ライブラリー講演会の開催

○多文化を知るイベントの開催

○初心者向け英語多読関連講座の開催

○令和6年度鳥取県モンゴル中央県青少年交流事業関連イベントの開催

○国際交流ライブラリー企画展示

- ・国際交流、講演会に関する企画展示
- ・鳥取県が交流している国や地域に関する企画展示(県交流推進課と連携)
- ・ピーナッツコレクションに関する展示

3 事業成果(改善状況)・課題等

○令和6年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・当館に多数所蔵する英語図書等を活用し、初心者対象の英語を楽しむ講座「図書館で英語の本を楽しもう！」を試行的に開催した。
- ・令和6年度鳥取県モンゴル中央県青少年交流事業(鳥取県モンゴル中央県親善協会主催)の一環として、主催者と連携し、モンゴルの青少年と鳥取県民との交流イベントを開催した。
- ・国際交流ライブラリー開設10周年を記念し、世界で活躍する鳥取県出身者を講師とした国際交流ライブラリー講演会を開催した。昨年同様、主会場のほか市町立図書館等のサテライト会場の設置と自宅等でのオンライン視聴も可能とし、参加しやすい形式とした。
- ・英語絵本の読み聞かせのニーズが高まっているため、「英語」をテーマとした「多文化を知るイベント」を開催した。
- ・企画展示では、国際交流に関する県政やその時々話題等をテーマに関連図書を紹介した。
- ・タイムフェスティバル(国際交流団体や在住外国出身者等がそれぞれの活動、国を紹介する催し)に出展し、国際交流ライブラリーの紹介や本の貸出を行った。また、対訳絵本の読み聞かせを行った。
- ・外国語図書の専門書店(東京)での現物選書を行い、外国語図書の充実に努めた。

○成果及び効果

- ・試行的に開催した「図書館で英語の本を楽しもう！」では、講師(元高校教師)による英語の本を読む時のポイントや、英語の本の楽しみ方等の話を聞き、各個人に合う楽しみ方を知ることができた。また、当館所蔵の英語関連図書を周知するきっかけにもなり、国際交流ライブラリー・環日本海交流室の利用促進につながった。
- ・国際交流ライブラリー開設10周年を記念した「国際交流ライブラリー講演会」では、鳥取県出身の講師の講演を聞き、世界にも自分自身にも目を向けることの重要性を実感し、国際理解について考えるきっかけに

なった。開催後は関連図書の貸出も増え、図書館の利用促進につながった。

- ・毎年開催している「多文化を知るイベント」は「英語」をテーマとして開催したところ、定員超過の申込があり関心の高さを実感した。会場内の図書展示にも多くの参加者が興味を持ち、貸出も多かった。終了後にも次のイベントについての問合せがあり、関心の高さがうかがえ、英語や多文化を知るきっかけづくりの必要性を実感した。
- ・他機関と連携や共催をして、イベントや展示を行い県民の国際理解や環日本海諸国等への関心を高める機会を提供することができた。

○課題

- ・当館の国際交流ライブラリーや環日本海交流室が多文化理解や県内在住外国人との交流の拠点となるよう、国際理解のためのイベント等を開催し、さらなる利用の促進を図るとともに、市町村立図書館や関係課・関係団体と協力し、レファレンスや資料提供、外国語学習等の支援の充実に努めていく必要がある。
- ・環日本海諸国に係る資料や情報の収集と充実に努め、県内在住外国人の支援及び県民の国際理解を促進していく必要がある。
- ・所蔵する英語資料を活用し、英語への興味関心をさらに高めるための工夫や取組を行う必要がある。

事業名	決算(見込)額	財 源 内 訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
市町村立図書館等協力支援事業	9,220				9,220

1 事業の目的、概要

市町村立図書館等の機能向上を図るため、サービスに必要な資料・情報を提供すると共に、各館職員のスキルアップを目的とした研修会・講座を開催する。各館と連携し、住民に対し図書館利用を啓発する事業を実施する。県全体の図書館サービスの高度化を図り、相互連携するためのネットワークの要としての役割を果たす。

2 事業の内容、実施の状況

市町村立図書館等に対し、宅配便によるリクエスト本の配送、一括大量貸出、資料相談を行った。司書の技術向上を図るための研修事業を実施した。また、図書館への来館促進を目的としたキャンペーンを全県で実施した。

<令和6年12月末までの市町村立図書館等への貸出冊数>

支 援 先	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(～12月)
市 町 村	53,352冊	53,884冊	54,317冊	38,273冊
高 等 学 校	26,922冊	23,383冊	20,222冊	14,649冊
特別支援学校	14,659冊	12,862冊	13,749冊	9,371冊
病院図書室	2,160冊	2,185冊	3,536冊	3,183冊
大学・団体・その他	3,088冊	3,336冊	3,136冊	3,591冊
合 計	100,181冊	95,650冊	94,960冊	69,067冊

○図書館業務専門講座

- ・高度化・多様化する利用者のニーズに対応するため、図書館職員のスキルアップを目的とした研修を実施した。
テーマ(開催月日) 参加人数：図書館経営(6月7日)参加47名、児童サービス(9月19日)参加47名、障がい者サービス(11月28日)参加53名、本の修繕の基礎講座(3月5日実施予定)

○新任職員のための図書館職員実務研修会(4月21日) 参加39名

○県立図書館職員が講師を務めた研修

- ・市町村立図書館職員のスキルアップのため、希望する図書館の研修会に出向き研修を行った。

○図書館へ行こう！キャンペーン(10月1日～12月1日)

秋の読書週間(10月27日～11月9日)にちなみ、鳥取県立図書館と市町村立図書館、大学・高等専門学校図書館、専門図書館が共同で「図書館へ行こう！キャンペーン」を実施した。各図書館で体験メニューを設定し、体験数に応じて賞品をプレゼントした。(クリアファイル：3,551枚、マグネットシート：2,181枚、トートバック：1,860件の応募に対して500枚をプレゼントした)

○各種委員を務めた事例

委員の名称・委員名	任 期
境港市図書館協議会委員	令和5年10月1日～令和7年9月30日
岩美町立図書館協議会委員	令和6年4月1日～令和8年3月31日
八頭町子どもの読書活動推進計画第3次計画策定委員	令和6年8月1日～令和7年3月31日
わかさ生涯学習館運営委員会委員	令和5年4月1日～令和7年3月31日
琴浦町図書館協議会委員	令和6年7月1日～令和7年3月31日
琴浦町子どもの読書活動推進計画策定委員	令和5年6月1日～令和6年5月31日
江府町図書館協議会委員	令和5年4月1日～令和7年3月31日

3 事業成果(改善状況)、実施の状況

○令和5年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・新型コロナウイルス感染症は5類に移行したが、市町村立図書館の要望等により、図書館業務専門講座をより参加しやすいハイブリッド開催とした結果参加数が増加した。
- ・市町村立図書館(含：学校図書館との合同研修)を対象とした研修会への講師派遣を行い、研修テーマの担当部署の職員が講師を務めた。各館職員のみならず、当館職員のスキルアップにもつながった。

○成果及び効果

- ・講座のハイブリット開催により、1館から複数の参加が可能になり、移動時間に係る受講者の負担も軽減された。しかし、直接顔を合わせる機会の減少の要因ともなっており、市町村間のつながりが弱くなっている。
- ・研修では図書館経営、障がい者サービス、児童サービス等、市町村立図書館でのニーズの高いテーマを取り上げ、公共図書館の課題意識や情報の共有を図ることができた。
- ・「図書館へ行こう！キャンペーン」を県立図書館と県内全市町村立図書館に加え、本年度は大学・高等専門学校図書館や専門図書館にも参加を呼びかけ実施した。館種を越えた図書館間の新たな動きを生み出すことができた。

○課題

- ・支援の充実連携構築を推進するためには、各館への訪問回数を増やし、更なるコミュニケーション、現場のニーズを把握することが必要である。
- ・図書館が知の情報拠点としてこれまで以上に活用されるよう、図書館のサービスや機能を広く県民に知ってもらうための市町村立図書館と協力した一層の取組が必要である。
- ・社会の急激な変化に伴い、県内公共図書館における電子図書館に係る研究や業務のDX化に対する検討が必要である。

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財 源 内 訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
図書館運営費(資料購入整理費)	99,555	7,496		3,481	88,578

1 事業の目的、概要

○目的及び事業の実施状況

多様化・高度化する県民の要望に的確に対応するため、あらゆる分野の最新資料、専門的な資料、郷土資料、市町村や学校を支援する資料等、蔵書の充実を図る。

2 事業の内容、実施の状況

○図書及び逐次刊行物の整備充実

・県民の専門的な要求にも応えられるよう資料の充実を図り、逐次刊行物については広範な分野で最新の情報が提供できるよう充実に努めた。

<資料の整備状況>

(単位：冊)

区 分		令和5年度末冊数	購入等 (寄贈含む)	除 籍	計	令和6年度 12月末冊数
蔵書合計		1, 273, 798	20, 094	△641	19, 453	1, 293, 251
内 訳	一 般	876, 252	13, 615	△203	13, 412	889, 664
	郷 土	156, 685	2, 062	△1	2, 063	158, 748
	児 童	131, 330	2, 458	△122	2, 580	133, 910
	協 力	86, 165	895	△311	1, 206	87, 371
	その他	23, 366	188	△4	192	23, 558

3 事業成果(改善状況)・課題等

○令和6年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・電子書籍の選書・発注・納入が円滑に進むよう書店とフローや役割の確認を行った。
- ・県政・地域の課題への対応や県民の豊かな暮らしをサポートするため、ビジネス支援や医療・健康情報サービスなどの課題解決型サービス実施のための資料の充実を図った。
- ・人の成長・学びを支えるための子どもの読書推進、学校図書館支援、生涯学習を支援するための資料の充実を図った。

○成果及び効果

- ・電子書籍サービスにより、遠隔地居住者の利便性の向上や図書館利用に困難のある方などの読書・バリアフリー環境の充実を図った。
- ・市町村立図書館では持つことの困難な専門書・技術書など多様な内容の資料を収集することにより、県民が必要とする資料の提供を行った。
- ・探究学習や総合的な学習などに活用できる資料の貸出により、学校図書館支援を行った。

○課題

- ・電子書籍サービスの一層の周知を図り、利用の拡大に努める必要がある。
- ・多様化、高度化する県民の要求に応えるために、専門家の助言を参考にしながら最新の資料を幅広く収集する必要がある。
- ・郷土資料については、出版情報を逐次確認しながら、網羅的な収集に努める必要がある。
- ・蔵書数の増加により書庫の空き容量が減少している。今後の資料増加に対応するため、不要資料の除籍を計画継続的に進め、空き容量を確保していく必要がある。

各種開催事業の状況

(単位：人)

名 称	内容・日時(開催日)・場所等	参加人数 (人)
生きる力を育むとっとり学校図書館活用教育普及事業		
学校司書のための ICTスキルアップ研修	内容:Basic講座、FigJam講座 講師:株式会社ストリートスマート 森本敦史氏 開催日:5月22日(水)、5月23日(木)、5月24日(金) 場所:県教育センター、エースパック未来中心、米子コンベンションセンター	100
学校図書館活用教育普及講座(対象:小中学校・特別支援学校教職員・市町村教育委員会指導主事)	内容:「GIGAスクール時代の今こそ、学校図書館の活用を」 講師:滋賀文教短期大学専任講師 都留文科大学、法政大学、玉川大学非常勤講師 有山裕美子氏 開催日:8月5日(月)6日(火)8日(木) 場所:県立図書館、エースパック未来中心、米子コンベンションセンター	143
学校図書館司書実務研修会	【第1回】 内容:「学校図書館の運営と高校司書の役割について ～コレクション形成と整理～」(講義と演習) 講師:鳥取湖陵高等学校司書主任 高橋和加氏 開催日:10月8日(火) 場所:鳥取東高等学校 【第2回】 内容:「学校図書館の運営」(講義と演習) 講師:八頭高等学校司書主任 上田千代氏 開催日:12月13日(金) 場所:八頭高等学校	39
学校図書館司書研修会	内容:「デジタルアーカイブの活用と学校図書館」 講師:人間文化研究機構 研究創発センター 特任准教授、国立歴史民俗博物館 特任准教授、東京大学 情報学環 特任研究員 大井将生氏 開催日:11月15日(金) 場所:県立図書館(リモート)	40
全国高等学校ビブリオバトル2024鳥取県大会	開催日:12月8日(日) 場所:倉吉体育文化会館大研修室・中研修室・小研修室(8校11人が出場) チャンプ本:『対岸の家事』(朱野帰子/著・講談社) 湯梨浜学園高等学校	66
県立図書館職員が講師を務めた研修	内容:司書教諭研修(小・義・特)「学校図書館の活用と司書教諭の果たす役割」 開催日:6月17日 会場:県教育センター(オンライン)	77
	内容:司書教諭研修(中・義・高)司書教諭研修(中・義・高)「学校図書館の活用と司書教諭の果たす役割」 開催日:6月4日 会場:県教育センター(オンライン)	68
	内容:鳥取市学校司書・司書教諭研修会 開催日:6月20日 会場:鳥取市総合教育センター	108
	内容:米子市立小学校司書教諭 図書館教育部会 開催日:8月21日 会場:米子市立尚徳小学校	56
	内容:令和5年度第2回大山町学校図書館司書研修会「児童が来たくなるような魅力的な図書館づくり」 日時:9月24日 会場:大山町立名和小学校	13

名 称	内 容 ・ 日 時 (開催日) ・ 場 所 等	参加人数 (人)
県立図書館職員が 講師を務めた研修	内容：米子市学校司書研修会「鳥取県立図書館の電子書籍の活用について」 開催日：10月22日 会場：米子市立図書館	34
	内容：東部小教研図書館部会秋季研修「主体的・対話的で深い学びを支援する学校図書館」 開催日：10月23日 会場：鳥取市立美保小学校	15
	内容：鳥取市学校司書連絡会「ブックトーク」 開催日：11月29日 会場：県立図書館	20
	内容：倉吉市学校司書研修会「学校図書館における著作権について」 開催日：11月11日 会場：倉吉交流プラザ	15
デジタル化時代の知の拠点づくり事業		
鳥取県電子図書館 普及キャラバン	内容：学生向け電子書籍リスト配布（就職活動／論文・レポート／英語／第二外国語）、電子書籍利用体験、web利用者登録案内、トリピー出演 開催日：10月13日（日） ※「風紋祭」2日目 場所：鳥取大学附属図書館 対象：学生、教職員	350
	内容：医学・看護に関する電子書籍リスト配布、電子書籍利用体験、web利用者登録案内、「鳥取県電子図書館普及キャラバンinイオンモール日吉津」PR 開催日：11月3日（日）※「錦祭」2日目 場所：鳥取大学医学図書館 対象：学生、教職員	150
	内容：地方行政に関する電子書籍リスト配布、電子書籍利用体験、地方行政や議会対応等に関する図書の展示・貸出、境港市民図書館利用者カード作成、「鳥取県電子図書館普及キャラバンinイオンモール日吉津」PR 開催日：12月6日（金） 場所：境港市役所 対象：市職員、市議会議員 協力：境港市民図書館	45
	内容：電子書籍利用体験、日吉津村図書館利用者カード作成、「とりデジ」クイズ、図書館グッズカブセルトイ、トリピー出演 開催日：12月7日（土） 場所：イオンモール日吉津 対象：一般県民 協力：紀伊國屋書店、鳥取県教科図書販売株式会社、日吉津村図書館	302
資料デジタル化研修の実施	内容：写真・絵葉書・地図等の一枚物を対象とした資料撮影実習及び画像加工実習 講師：TRC-ADEAC株式会社社員、菊池市中央図書館職員 開催日：11月19日（火）、20日（水） 場所：エースバック未来中心 ※本事業はTRC-ADEAC株式会社に業務委託し実施	20
電子書籍サービスの 広報	内容：サイトリニューアル URL：https://www.library.pref.tottori.jp/search/post-19.html 公開日：6月6日（木）より 新たに追加した機能：音声読み上げ対応資料リスト、英語多読資料リスト、電子書籍アクセス数月間ランキング（月1回更新）、テーマ別資料紹介（SNS等で紹介している本、月2回更新） ※音声読み上げ対応資料リスト、英語多読資料リストはテキストデータも作成し公開	-

名 称	内容・日時(開催日)・場所等	参加人数 (人)
電子書籍サービスの広報	内容:伯耆町有線テレビジョン制作番組取材 番組名・テーマ:「勝手に探Q新」県立図書館の新サービスを探Q!～電子書籍～ 放映日:3月29日(金)、4月26日(金)	—
	内容:特別資料展「平安時代の物語文学ー読み継がれた源氏物語と池田亀鑑ー」に関連し、資料リスト「電子書籍で楽しむ平安文学」をHP公開および会場配布 開催日:8月24日(土)～9月29日(日) 場所:県立図書館	596 (入場者数)
「とりデジ」の広報・研修	内容:「とりデジ」クイズ(鳥取県電子図書館普及キャラバンにも掲載) 開催日:12月7日(土) 場所:イオンモール日吉津	302 (来場者数)
	内容:図書館員向けくずし字解読連続講座 開催日:3月14日(金)※予定 講師:県内郷土史家 場所:県立図書館およびオンライン開催	—
	内容:郷土企画展示における「とりデジ」郷土人物情報へのリンク貼付 テーマ(カッコ内は展示内で取り上げた人物): ・NHK朝の連続テレビ小説「虎に翼」から鳥取県とのつながりを知る(中田正子、岸本辰雄) ・伊福部昭の音楽をふりかえる(伊福部昭) ・二十世紀梨導入120年～鳥取県と梨～(北脇永治) ・霊長類学者 伊谷純一郎の足跡を本でたどる(伊谷純一郎)	—
県立図書館職員が講師を務めた研修(デジタル化事業関係)	内容:米子市学校司書研修会「鳥取県立図書館の電子書籍の活用について」 開催日:10月22日(火) 場所:米子市立図書館	11
	内容:南部町司書研修会「デジタルアーカイブ(とっとりデジタルコレクション)の演習」 開催日:11月27日(水) 場所:キナルなんぶ	10
	内容:日吉津村図書館職員研修「電子図書館・電子書籍について考える」 開催日:12月6日(金) 場所:ヴィレステひえづ	5
	内容:大山町図書館職員研修会 開催日:2月27日(木)※予定 場所:未定	
仕事とくらしに役立つ図書館推進事業(くらしに役立つ図書館推進事業)		
鳥取県読書バリアフリー推進に係る関係者協議会	内容:「鳥取県視覚障がい者等の読書環境の整備の推進に関する計画」に基づく鳥取県の読書バリアフリー推進事業等の取組状況等について、事業等の評価や計画改訂に向けた有識者等の意見を聴取。 開催日:(第1回)7月22日(月)、(第2回)11月29日(金)、(第3回)2月21日(金)予定 場所:県立図書館大研修室(オンライン参加もあり) ※協議会委員総数は15名	第1回 15 (会場9 オン6) 第2回 15 (会場8 オン7)
手話で楽しむおはなし会	開催日:毎月第4日曜日	延べ155 (子ども59 大人96)
バリアフリー映画上映会	内容:①鳥取県読書バリアフリー計画・県立図書館「はーとふるサービス」紹介 ②映画上映(上映作品「ケアニン こころに咲く花」) 開催日:3月7日(金)開催予定 場所:県立図書館大研修室	
出前図書館	内容:鳥取県老人クラブ連合会理事会 開催日:5月8日(水) 場所:鳥取県人材福祉研修センター	16
	内容:子どものための福祉機器展(主催:鳥取県等) 開催日:7月25日(木)、26日(金) 場所:県立鳥取養護学校、県立総合療育センター	155
	内容:第54回中国四国肢体不自由児者父母の会連合会鳥取大会 開催日:11月18日(土) 場所:とりぎん文化会館小ホール	18

名 称	内 容 ・ 日 時 (開催日) ・ 場 所 等	参加人数 (人)
出前図書館	内容:鳥取県身体障がい者福祉大会 開催:11月20日(水) 場所:とりぎん文化会館小ホール	36
	ロービジョンフォーラム(主催:鳥取県) 開催日:3月22日(土)予定 場所:米子コンベンションセンター	
図書館ツアー	視覚障がい者等対象図書館ツアー(はーとふる図書館ツアー) 共催:鳥取県視覚障がい者東部支援センター	19 ※盲導犬2頭
県立図書館職員が講師を務めた研修	2024年度第2回中国四国ブロック音訳指導員養成講習会 主催:全国視覚障害者情報提供施設協会 中国四国ブロック 開催日:12月5日(木) 内容:調査技術の指導法 会場:オンライン開催	34
	令和6年度図書館司書専門講座 主催:文部科学省、国立教育政策研究所 開催日:6月12日(水) 内容:鳥取県立図書館のはーとふるサービス 会場:オンライン開催	-
展示	内容:世界自閉症啓発デー、発達障害啓発週間 展示期間:3月1日(金)～4月10日(水) 場所:県立図書館 1階閲覧室階段横	93
	内容:広げよう♪あいサポート運動 展示期間:12月2日(月)～12月20日(金) 場所:県立図書館 閲覧室奥	9
	内容:バリアフリー映画上映会関連展示 展示期間:3月1日(土)～3月30日(日)(予定) 場所:県立図書館1階	-
館内標示を考えるワークショップ (認知症本人ミーティング)	内容:館内標示について、どのような標示が分かりやすいか認知症の方と意見交換 開催日:6月26日(水) 場所:県立図書館	24
あたまイキイキ音読教室	内容:昔話や詩などをみんなで声に出して読む会 開催日:毎月第4木曜日(祝日、休館日等により変更の場合あり)	213
デジタル機器を利用した情報収集講座	内容:高齢者、学びなおしに取り組む方を対象に、情報機器を利用した情報収集方法について学ぶ講座を県東中西部で開催。 講師:県立図書館、各共催館の職員 ①「図書館で学ぼう!スマホ活用講座」 開催日:10月23日(水)共催・会場:倉吉市立図書館 ②「図書館で学ぼう!スマホ活用講座」 開催日:11月22日(金)共催・会場:米子市立図書館 ③「図書館で学ぼう!電子書籍を使ってみよう」 開催日:12月19日(木)共催・会場:鳥取市立中央図書館	① 8 ②10 ③ 4
とっとり孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム	県立図書館と県内市町村立図書館から成る鳥取県公共図書館協議会として、令和6年9月から参加。	-

名 称	内容・日時(開催日)・場所等	参加人数 (人)
出前図書館	・医療・健康情報サービス関連 ①鳥取市認知症フォーラム2024(主催:鳥取市) 開催日:5月15日(水) 場所:とりぎん文化会館 ②鳥取県看護職員実習指導者養成講習会(主催:鳥取県看護協会) 開催日:6月20日(木) 場所:鳥取県看護研修センター ③ものの忘れ、認知機能の出張無料相談会(主催:鳥取県) 開催日:12月7日(土) 場所:イオンモール鳥取北 ・サポートが必要な家庭応援事業関連 ④とっとり県民カレッジ講座「地域をつなぐ「子どもの居場所」」 開催日:10月5日(土) 場所:ヴィレステ日吉津	①26 ②21 ③28 ④44
展示	・医療・健康情報サービス関連展示 気になる!健康食品、サプリメント(4月12日~5月8日) “がん検診に行こう!”パネル展(7月1日~7月30日)(協力:鳥取県) ひとりでも悩まないで~自死予防~ (9月2日~9月29日)(協力:鳥取県) 認知症になっても暮らしやすいまちづくり(9月1日~29日) (協力:鳥取県) ・鳥取県医師会公開健康講座との連携展示 あなたの腸は絶対腸? (3月15日~4月10日) 頻尿と尿失禁 (4月12日~5月8日) とても身近な腎臓病の話 (5月10日~6月12日) 「鼻づまり」で困ること (6月14日~7月10日) 糖尿病のあんな話、こんな話 (7月12日~8月7日) 他人に話せないおしりの悩み (8月9日~9月11日) 変形性膝関節症 (9月13日~10月9日) 未来の健康づくりと総合診療 (10月11日~11月13日) 咳のこと、のどのこと (11月15日~12月11日) イメージが変わる狭心症・心筋梗塞 (12月13日~令和6年1月8日) ・鳥取県立中央病院医療講座との連携展示 糖尿病の話 (5月16日~6月12日) 知って安心!大腸がん (9月1日~10月1日) みんなが気になる認知症のこと(11月1日~11月29日) ・サポートが必要な家庭応援事業関連展示 みんなで支えあう社会へ (5月16日~6月12日)(協力:鳥取県) 里親制度について知っていますか (10月1日~10月30日) (協力:鳥取県、里親家庭サポートセンターいろは) ストップ!DVなくそう!児童虐待(11月1日~11月29日) (協力:鳥取県)	-
法情報・困りごと解決支援情報の提供	「法テラスの日」記念 休日無料電話法律相談会	相談27件
	外国人無料相談会(鳥取県行政書士会) 12回開催	相談11件
	司法書士無料相談会(鳥取県司法書士会)11回開催 ※蔵書点検のため1月開催なし	相談92件
託児サービス「託児で来(らい)ぶらり」	内容:子ども連れで来館する利用者向け託児サービス 開催日:毎週水曜日(祝日・休館日を除く)の午前9時15分~11時45分 場所:県立図書館	19
仕事とくらしに役立つ図書館推進事業(図書館ビジネス支援推進事業)		
鳥取県立図書館のビジネス支援20周年記念BIZフォーラム(第6回図書館で夢を実現しました大賞表彰式)	内容①:「第6回夢を実現しました大賞」表彰式 1 表彰状授与(最優秀賞:1件 優秀賞:2件) 2 審査委員長講評 3 受賞者からのコメント 内容②:「ビジネス支援20周年記念Bizフォーラム」開会行事 県教委会挨拶 林次長 内容③:記念講演:「鳥取で起業するということ」講師:宇佐美孝太(株式会社Skyer代表取締役) 内容④:ミニ講演:「公立図書館におけるビジネス支援とは?」講師:竹内利明(ビジネス支援図書館推進協議会会長・元電気通信大学特任教授) 内容⑤:パネルディスカッション 成功事例から考える図書館のビジネス支援機能(仮) コーディネーター:(株)日本政策金融公庫国民生活事業鳥取支店融資課長 延原清隆 パネリスト:増田晋也氏(アイメモリア株式会社 代表取締役)、山田大樹氏(稲妻飯店店主)、生田昭夫氏(堂計画室代表) 開催日:3月1日(土) 場所:鳥取県立図書館	-

名 称	内容・日時(開催日)・場所等	参加人数 (人)
夢・実現スタート アップ創業勉強会	内容①:「図書館で創業や経営に役立つリサーチ・マーケティング 力をつけよう」 講師:鳥取県よろず支援拠点コーディネーター 内容②:図書館から情報提供 提供:米子市立図書館職員 内容③:相談会(1組1名) 開催日:10月22日(火) 共催:米子市立図書館 場所:米子市立図書館第3・第4研修室	5
	内容①:「図書館で創業や経営に役立つリサーチ・マーケティング 力をつけよう」 講師:鳥取県よろず支援拠点コーディネーター 内容②:図書館から情報提供 提供:県立図書館職員 内容③:相談会(2組2名) 開催日:10月24日(木) 場所:県立図書館大研修室	7
	内容①:「図書館で創業や経営に役立つリサーチ・マーケティング 力をつけよう」 講師:鳥取県よろず支援拠点コーディネーター 内容②:図書館から情報提供 提供:県立図書館職員・倉吉市立図書館員 内容③:相談会(2組2名) 開催日:10月29日(火) 共催:倉吉市教育委員会 場所:倉吉交流プラザ第3研修室	8
高校生ビジネスプ ラン作成講座	内容①:ビジネスプラン作成講座(アイデア発想編) 講師:(株)日本政策金融公庫職員 内容②:図書館からの情報提供 提供:米子市立図書館職員 内容③:INPIT鳥取県知財総合支援窓口のご紹介、J-P l a t P a t 操作体験 紹介:INPIT鳥取県知財総合支援窓口職員 内容④:プラン作成、発表 開催日:8月8日(木) 主催:(株)日本政策金融公庫、県立図書館 共催:米子市立図書館 場所:米子市立図書館	4 (2校 2グループ)
※西部では3年連 続の開催	内容①:ビジネスプラン作成講座(アイデア発想編) 講師:(株)日本政策金融公庫職員 内容②:図書館活用講座 講師:県立図書館職員 内容③:INPIT鳥取県知財総合支援窓口のご紹介、J-P l a t P a t 操作体験 紹介:INPIT鳥取県知財総合支援窓口職員 内容④:プラン作成、発表 開催日:8月9日(金) 主催:(株)日本政策金融公庫、県立図書館 場所:県立図書館	10(3校・3グ ループ)
県立図書館と産業 支援機関との連携 展示	内容:高校生ビジネスプラン作成講座関連展示 展示期間:6月14日(金)～7月30日(火)/展示場所:県立図書館 展示期間:7月2日(金)～9月6日(金)/展示場所:鳥取東高校 展示期間:8月26日(月)～9月19日(木)/展示場所:青翔開智中学校・高 校 展示期間:9月13日(金)～9月25日(水)/展示場所:米子西高校 連携機関:日本政策金融公庫	-
知財・ビジネス共 同相談会の開催	内容:県立図書館司書と「鳥取県よろず支援拠点」、「INPIT鳥取 県知財総合支援窓口」の相談員による相談会 鳥取会場 4～3月の毎月第3火曜日 倉吉会場 4～3月の毎月第1水曜日 米子会場 4～3月の毎月第3金曜日	鳥取14件 倉吉12件 米子12件
関係機関と連携し 定期相談会	内容:創業・融資相談会((株)日本政策金融公庫と連携) 開催日:4～3月の毎月第2日曜日 場所:県立図書館	18
	内容:起業・経営なんでも相談会((一社)鳥取県中小企業診断士協 会と連携) 開催日:4～3月の毎月第2日曜日 場所:県立図書館	
	内容:就農相談会(鳥取県農業経営・就農支援センターと連携) 開催日:4～3月の年3回 場所:県立図書館	3

名 称	内容・日時(開催日)・場所等	参加人数 (人)
商工労働関連研修会、イベントへの出前図書館等	内容:失敗しない起業&経営ブラッシュアップゼミナール 開催日:9月1日(日) 場所:米子商工会議所	30
	内容:とっとり創業塾 開催日:9月29日(日) 場所:鳥取商工会議所	15
	内容:産業未来フェス 開催日:令和7年2月7日(金)、2月8日(土) 場所:米子コンベンションセンター	-
ジェトロ鳥取との共催セミナー	内容:貿易実務講座(県立図書館のビジネス支援情報提供20分) 講師:法務事務所代表 開催日:11月6日(水)、11月7日(木) 場所:大研修室	11
企画展示「鳥取県認定グリーン商品リレー展示2024」	展示物:鳥取県認定グリーン商品の実物展示、紹介パネルの展示など 主催:鳥取県認定グリーン商品普及促進協議会 展示館:12館(県立1館、高等学校11館) 期間:9月5日(木)～令和7年2月26日(水)	-
人の成長・学びを支える図書館推進事業		
児童サービス専門講座	「未就学児と本をつなぐー豊かな未来のために」 講師:白百合女子大学人間総合学部児童文化学科教授 開催日:9月19日(木) 場所:エキパル倉吉	47
児童サービス実務研修	内容:第1回(ブックトーク(入門編)) 講師:県立図書館職員 開催日:6月27日(木) 会場・共催館:まなびタウンとうはく・琴浦町図書館	21
	内容:第2回(ブックトーク(実践編)) 講師:県立図書館職員 開催日:11月7(木) 会場・共催館:ちえの森ちづ図書館	11
	【開催予定】 内容:第3回(選書) 講師:県立図書館職員 開催日:令和7年2月6日(木) 会場・共催館:ヴィレステひえづ・日吉津村図書館	未定
郷土情報発信事業		
ふるさとの歴史再発見事業	内容:特別資料展「平安時代の物語文学ー読み継がれた源氏物語と池田亀鑑ー」展 展示期間:8月24日(土)～9月29日(日) 場所:県立図書館特別資料展示室 学芸員によるギャラリートーク (一般向け)9月19日(木)、9月29日(日)、11月30日(土) (職員向け)9月12日(木)	596
(ふるさとの歴史再発見事業)	内容:郷土文化講演会「平安文学の人物像について - 史実に相照らして -」 講師:流通経済大学教授 開催日:11月30日(土)※9月1日(日)開催予定が台風により延期 場所:県立図書館大研修室、サテライト会場(伯耆町、日南町)、オンライン配信あり	82
	内容:鳥取県に伝わる昔話を聞く会 語り手:個人 開催日:第4土曜日(8回開催) 場所:県立図書館小研修室	130
郷土文学者情報発信事業	内容:『やつれみのの日記』を解読するワークショップ 講師:個人(郷土史家) 開催日:3月14日(金)予定 場所:県立図書館大研修室及びオンライン参加	-

名 称	内容・日時(開催日)・場所等	参加人数 (人)
企画展示	内容:青谷かみじち史跡公園開園記念～青谷上寺地遺跡から弥生時代を知る～ 展示期間:4月1日(月)～5月30日(木) 場所:県立図書館ふるさと鳥取コーナー	—
	内容:大活躍!鳥取県関係力士～尊富士 新入幕優勝おめでとうございます 展示期間:4月1日(月)～4月29日(月) 場所:県立図書館郷土資料室雑誌コーナー前、1階入口	—
	内容:NHK朝の連続テレビ小説「虎に翼」から鳥取県とのつながりを知る 展示期間:4月15日(月)～10月9日(水) 場所:県立図書館ふるさと鳥取コーナー	—
	内容:伊福部昭の音楽をふりかえる 展示期間:5月1日(水)～7月30日(火) 場所:県立図書館郷土資料室雑誌コーナー前	—
	内容:『蒼天の鳥』の母娘―「新しい女」田中古代子と千鳥の詩― 展示期間:5月15日(木)～6月12日(水) 場所:県立図書館2階通路ギャラリー	—
	内容:音楽をCDで楽しもう～新しいCDが入りました～ 展示期間:8月1日(木)～8月30日(金) 場所:県立図書館通路ギャラリー	—
	内容:二十世紀梨導入120年～鳥取県と梨～ 展示期間:9月13日(金)～11月29日(金) 場所:県立図書館通路ギャラリー	—
	内容:「松本薫氏講演会 私たちの「今」と生田長江―小説『火口に立つ。』から―」(ボランティア企画講演会関連) 展示期間:9月13日(金)～9月29日(日) 場所:県立図書館郷土資料室雑誌コーナー前	—
	内容:霊長類学者 伊谷純一郎の足跡を本でたどる 展示期間:9月13日(金)～10月30日(水) 場所:県立図書館郷土資料室雑誌コーナー前	—
	内容:ねんりんピック はばたけ鳥取2024 展示期間:10月11日(金)～11月13日(水) 場所:県立図書館ふるさと鳥取コーナー	—
	内容:佐治の民俗(鳥取民俗懇話会発足30周年記念公開講座関連) ※鳥取民俗懇話会との共催 展示期間:10月16日(水)～11月3日(日) 場所:県立図書館郷土資料室雑誌コーナー前	—
	内容:「宇沢弘文の社会思想『社会的共通資本』から学ぶ」(ボランティア企画講演会関連) 展示期間:11月7日(木)～11月29日(金) 場所:県立図書館郷土資料室雑誌コーナー前	—
	内容:映画「ルート29」公開記念 鳥取県が登場する文学作品をご紹介します 展示期間:11月15日(金)から1月19日(日) 場所:県立図書館ふるさと鳥取コーナー	—
	〈他館を会場にした巡回展示〉 内容:「鳥取県教育の父 遠藤董」 場所・期間:わかさ生涯学習情報館・4月19日(金)～5月31日(金) 日南町図書館・6月7日(金)～7月5日(金)	—
図書館国際交流事業		
国際交流ライブラリー講演会	内容:鳥取から世界へ、世界から鳥取へ 講師:フットリングル代表・作家 開催日:11月10日(日) 主催:県立図書館 場所(主):県立図書館大研修室 〃(サテライト):境港市民図書館、日野町山村開発センター、江府町立図書館(4会場)	82
鳥取県モンゴル中央県青少年交流事業	内容:図書館でモンゴルの子どもたちといっしょにあそぼう♪ 開催日:6月15日(土) 主催:鳥取県モンゴル中央県親善協会 共催:県立図書館 場所:鳥取県立図書館	47

名 称	内容・日時(開催日)・場所等	参加人数 (人)
英語多読関連講座	内容:図書館で英語の本を楽しもう！(初心者向け) 講師:ボランティア、元高校教諭 開催日:7月6日(土)、7月20日(土)※2回連続 主催:県立図書館 場所:鳥取県立図書館	各10
多文化を知るイベント	内容:図書館で「英語」を楽しもう 講師:鳥取短期大学助教授 開催日:8月18日(日) 主催:県立図書館 場所:鳥取県立図書館	72
国際交流ライブラリー企画展示	内容:世界のいろいろなお部屋を見てみよう 展示期間:4月12日～9月11日 場所:県立図書館通路ギャラリー	—
	内容:大人も子どもも、英語多読を楽しもう やさしい英語をたくさん読もう 展示期間:7月12日～9月29日 場所:県立図書館児童図書室	—
	内容:海と空でつながる「韓国」 展示期間:6月1日～8月30日※国際観光課と連携 場所:県立図書館共通玄関ロビー	—
	内容:香港ってどんなところ 展示期間:8月17日～9月29日※国際観光課と連携 場所:県立図書館国際交流ライブラリー・環日本海交流室 入口を入ってすぐ右側の机	—
	内容:さまざまな言語で「日本語を学ぼう」 展示期間:9月13日～10月17日 場所:県立図書館通路ギャラリー	—
	内容:2024年ノーベル文学賞 韓国の作家한강(ハン・ガン)氏が受賞 展示期間:10月13日～令和7年3月30日 場所:県立図書館国際交流ライブラリー・環日本海交流室内	—
	内容:香港ってどんなところ(令和6年10月27日(日)から米子と香港を結ぶ定期航空便の運航開始のため) 展示期間:10月18日～令和7年3月30日 ※国際観光課と連携 場所:県立図書館国際交流ライブラリー・環日本海交流室 入口を入ってすぐ右側の机	—
	内容:「世界へ飛び立つ鳥取県人」国際交流ライブラリー開設10周年記念講演会にちなんだ展示(講演会に関する展示) 展示期間:10月19日～令和7年2月12日 場所:県立図書館通路ギャラリー	—
	内容:台湾と鳥取県の青少年が制作した絵画の合同展「2024 日本鳥取県—台湾学校作品合同展」開催中!台湾を知ろう! 展示期間:12月13日～令和7年1月19日 場所:県立図書館特別資料展示室	—
	内容:ピーナッツに見るアメリカ文化「全米図書館週間(National Library Week)」 展示期間:4月12日～7月10日 場所:県立図書館通路ギャラリー	—
	内容:ピーナッツに見るアメリカ文化「サマーキャンプ(Summer Camp)」 展示期間:7月12日～10月30日 場所:県立図書館通路ギャラリー	—
市町村立図書館等協力支援事業		
図書館業務専門講座	内容:地域産業とともに歩む甲州市立勝沼図書館の挑戦と地域愛・図書館愛を育むカムカムクラブの活動 講師:山梨県甲州市立勝沼図書館職員 開催日:6月7日 場所:県立図書館及びオンライン	47
	【再掲】内容:「未就学児と本をつなぐー豊かな未来のために」 講師:白百合女子大学教授 開催日:9月19日 会場:エキパル倉吉	47
	内容:情報アクセシビリティすべての人に必要な情報が届く社会を実現するために 講師:国立国会図書館職員、鳥取県立図書館職員 埼玉県立久喜図書館職員、千葉県立西部図書館職員 開催日:11月28日 会場:県立図書館及びオンライン	53

名 称	内容・日時(開催日)・場所等	参加人数 (人)
新任職員のための 図書館職員実務研 修会	内容:①講義1「県民の幸せのためにある図書館」 ②講義2「資料相談(レファレンス)の基礎知識とデータベース活用 法」 ③講義3「郷土資料の収集と保存・基本的な本の扱い方」 ④事業説明「県立図書館の市町村立図書館支援・学校図書館支援につ いて」 講師・説明者:県立図書館職員 開催日:4月21日 場所:県立図書館及びオンライン	39
	内容:さかいみなと図書館応援団主催講演会「図書館を自分ごとにす る」 開催日:6月15日 場所:境港市市民活動センター	28
	内容:図書館職員交流研修会「今、司書に求められるもの」 開催日:6月27日 会場:北栄町図書館	12
	内容:北栄町管理職研修会「今すぐ役立つ図書館サービスから町の図 書館を使い倒してワンランク上の仕事を～」 開催日:10月30日 会場:北栄町役場	26
	内容:デジタルアーカイブ(とっとりデジタルコレクション)の演習 開催日:11月27日 会場:キナルなんぶ	10
	内容:日吉津村立図書館職員研修(デジタルアーカイブ) 開催日:12月6日 会場:ヴィレステひえづ	5
	内容:鳥取短期大学司書科目「情報サービス論」第15回 「鳥取県立図書館の課題解決支援」 開催日:1月20日(月) 場所:鳥取短期大学	16

「サービス指標」に係る実績

項目	指標			令和３年度 実績数値	令和４年度 実績数値	令和５年度 実績数値	令和６年度 実績数値 (12月末時点)	令和９年度 目標数値	目標数値算出のための 想定内容
【第１の柱】 「仕事とくらしに役立つ図書館」を実現します。	1	利用者からの資料相談件数		14,619 件	14,567 件	15,032 件	12,505 件	15,100 件	毎年約 100 件(0.7%)の増
	2	ビジネス関係の相談会の相談件数		43 件	46 件	48 件	39 件	58 件	毎年 3 件(7.0%)の増 知財相談会とビジネス情報相談会が令和 ５年度より「知財・ビジネス共同相談会」 となったため、件数が減少
	3	医療・健康関係（49 類）の図書・雑誌の貸出冊数		17,206 冊	22,285 冊	22,488 冊	19,285 冊	20,200 冊	毎年 600 冊(3.5%)の増
【第２の柱】 「生涯を通じての人の成長・学びを支える図書館」を実現します。	4	学校図書館活用年間計画を作成した学校の割合	小学校	96.7%	97.5%	98.3%	—	100%	全校で実施
			中学校	62.5%	75.0%	75.0%	—	71%	毎年 1 校の増
			高等学校	34.4%	25.0%	28.1%	—	50%	毎年 1 校の増
			特別支援学校	80.0%	70.0%	70.0%	—	100%	全校で実施
	5	子どもの読書に関する研修を主催した市町村立図書館の数		6 館	9 館	11 館	—	11 館	毎年 1 館の増
	6	情報リテラシー教育に取り組む県内の図書館数		4 館	3 館	1 館	—	9 館	毎年 1 館の増
【第３の柱】 「鳥取県の文化を育み世界に発信する図書館」を実現します。	7	郷土資料の所蔵数		151,710 点	153,818 点	156,685 点	158,748 点	166,700 点	毎年 2,500 点（1.6%）の増
	8	県立図書館 HP の「鳥取県の情報」へのアクセス数		32,095 件	79,127 件	24,479 件	4,050 件	33,600 件	毎年約 300 件(0.9%)の増
	9	環日本海交流室、国際交流ライブラリー資料の貸出数		16,507 冊	14,794 冊	14,782 冊	12,596 冊	19,700 冊	毎年約 200 冊(1.2%)の増
(第４の柱) 「知の拠点としての図書館」を実現します。	10	横断検索のアクセス件数		103,341 件	92,905 件	96,687 件	83,105 件	110,000 件	毎年約 1,000 件(1.0%)の増
	11	全県で共同利用している商用データベースの閲覧ページ数		17,365 頁	18,513 頁	17,839 頁	20,849 頁	27,500 頁	毎年 2,000 頁の増
	12	電子書籍の利用件数		0 件	—	(3カ月) 4,138 件	16,225 件	9,000 件	R5:5,0000 件、その後毎年 1,000 件の増 ※R6.1.4 本格稼働開始
【キーワード】 ネットワーク	13	県立図書館から市町村立図書館、学校図書館等への協力貸出（※1）冊数		100,076 冊	95,650 冊	94,960 冊	69,067 冊	102,500 冊	毎年約 500 冊(0.5%)の増
	14	市町村立図書館、学校図書館等からの資料相談件数		176 件	162 件	197 件	147 件	230 件	毎年約 10 件(5.7%)の増
【キーワード】 専門性	15	認定司書（※2）の資格を取得した職員の数		5 名	5 名	6 名	6 名	10 名	毎年 1 名の増
	16	鳥取県立図書館主催の図書館業務専門講座に参加した市町村立図書館の数		18 館	19 館	17 館	17 館	19 館	全館で実施
【キーワード】 発信力	17	県立図書館ホームページのトップページへのアクセス件数		349,951 件	519,764 件	322,725 件	899,596 件	380,000 件	毎年約 5,000 件(1.4%)の増
	18	県立図書館 SNS（Instagram）のフォロワー数		0 名	200 名	568 名	814 名(2/18)	700 名	R4:200 名、その後毎年 100 名の増
【キーワード】 保存と公開	19	とっとりデジタルコレクションの県立図書館のデジタル化資料へのアクセス数		20,925 件	47,972 件	48,108 件	50,420 件	27,000 件	毎年約 1,000 件(4.8%)の増
	20	とっとりデジタルコレクションへの参加自治体・機関の数		4 機関	4 機関	4 機関	4 機関	14 団体（機関）	名年 2 団体（機関）の増

※１ 協力貸出：都道府県立図書館が県内の図書館等に対して貸出を行うこと。

※２ 認定司書：公益財団法人日本図書館協会が認定する司書。図書館における実務経験や実践的知識・技能を継続的に修得した者を評価し、各地域の図書館経営の中核を担いうる司書として認定するもの。

資料 1 – 2

【参考】 統計資料

■ 鳥取市の年代別人口と貸出冊数の比較 ※2017(H29) 年度（コロナ禍前）～2024(R6) 年度（現在）

◇年齢別貸出冊数◇

	【年齢別】											総冊数	貸出延人数
	6歳以下	7～12歳	13～15歳	16～18歳	19～22歳	23～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上		
2017(H29).4～12(A) コロナ前	15,443	20,394	3,319	2,864	7,422	18,452	63,931	64,107	46,824	65,792	33,121	341,669	114,825
2020(R2).4～12 コロナ禍	15,869	15,981	3,406	3,204	7,118	14,597	53,322	61,519	41,495	50,368	34,187	301,066	85,227
2023(R5).4～12 昨年度	13,615	16,574	3,159	2,063	4,891	12,557	41,065	50,518	37,068	43,974	41,162	266,646	71,290
2024(R6).4～12(B) 今年度	14,360	14,513	3,178	2,752	4,598	11,792	38,730	53,018	36,286	42,821	43,306	265,354	72,550
今年度とコロナ 前比 (B/A)	93.0%	71.2%	95.8%	96.1%	62.0%	63.9%	60.6%	82.7%	77.5%	65.1%	130.8%	77.7%	63.2%

※2017年度（コロナ前）、2020年度（コロナ禍）、2023年度（昨年度）の該当月までの合計と今年度を比較。
※年度比95％以下に青、105％以上に赤を着色
※新型コロナウイルス感染拡大の影響で、2020.3から2023.3まで貸出冊数を20冊、貸出期間を3週間に延長している。

◇鳥取市の人口◇

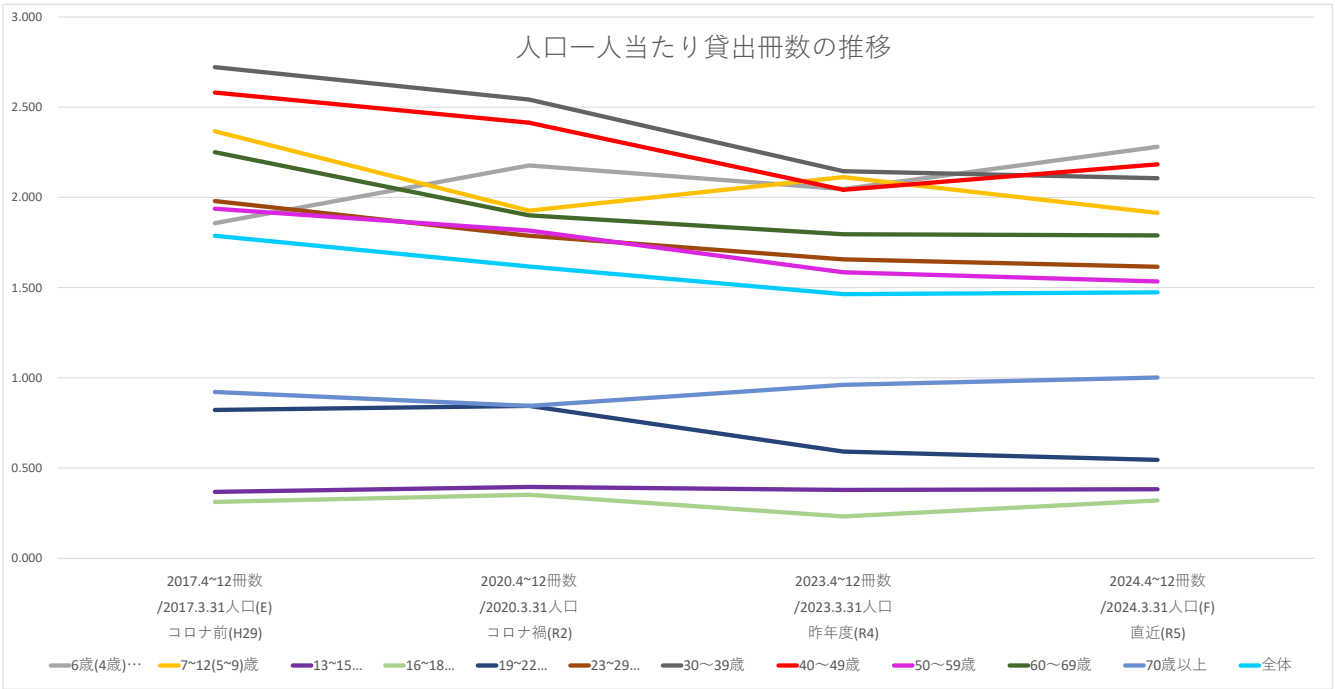
	4歳以下	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	総人口
2017(H29).3.31時点◎ コロナ前	8,316	8,617	9,022	9,167	9,033	9,320	23,486	24,836	24,168	29,232	35,955	191,152
2020(R2).3.31時点 コロナ禍	7,288	8,295	8,619	9,101	8,428	8,167	20,974	25,482	22,844	26,497	40,486	186,181
2023(R5).3.31時点 昨年	6,654	7,846	8,340	8,903	8,273	7,579	19,140	24,738	23,385	24,490	42,815	182,163
2024(R6).3.31時点(D) 直近	6,297	7,582	8,303	8,595	8,435	7,299	18,387	24,282	23,652	23,930	43,235	179,997
直近とコロナ前比 (D/C)	75.7%	88.0%	92.0%	93.8%	93.4%	78.3%	78.3%	97.8%	97.9%	81.9%	120.2%	94.2%

※年度比95％以下に青、105％以上に赤を着色

◇各年度4～12月の一人当たり貸出冊数◇

	6歳(4歳)以下	7～12(5～9)歳	13～15(10～14)歳	16～18(15～19)歳	19～22(20～24)歳	23～29(25～29)歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	全体
2017.4～12冊数 /2017.3.31人口(E) コロナ前(H29)	1.857	2.367	0.368	0.312	0.822	1.980	2.722	2.581	1.937	2.251	0.921	1.787
2020.4～12冊数 /2020.3.31人口 コロナ禍(R2)	2.177	1.927	0.395	0.352	0.845	1.787	2.542	2.414	1.816	1.901	0.844	1.617
2023.4～12冊数 /2023.3.31人口 昨年度(R4)	2.046	2.112	0.379	0.232	0.591	1.657	2.146	2.042	1.585	1.796	0.961	1.464
2024.4～12冊数 /2024.3.31人口(F) 直近(R5)	2.280	1.914	0.383	0.320	0.545	1.616	2.106	2.183	1.534	1.789	1.002	1.474
直近とコロナ前比	122.8%	80.9%	104.0%	102.5%	66.3%	81.6%	77.4%	84.6%	79.2%	79.5%	108.7%	82.5%

※年度比95％以下に青、105％以上に赤を着色



◇考察など◇

- ・総冊数の減少に比べて、貸出延人数の減少幅が大きい。
- ・1人当たりの貸出冊数は6歳以下、70歳以上の年代で増加している。

■鳥取県の新型コロナウイルス感染者数と来館者数の比較

※2017(H29).4（コロナ禍前）～2024(R6).12（現在）

2017(H29)年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
来館者数	22,194	22,786	22,581	27,026	28,910	24,313	23,998	22,745	19,720	19011	16515	22,855	272,654
2018(H30)年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
来館者数	21,794	21,776	22,317	25,229	28,125	24,414	23,715	22,614	20,102	20935	15808	24,472	271,301
2019(R1)年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
来館者数	23,301	22,225	23,686	25,782	17,815	11,994	20,825	18,821	17,570	18502	7419	8,565	216,505
2020(R2)年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
感染者数	3			12	7	13	2	20	61	80	11	50	
来館者数	10,384	15,310	16,270	17,029	18,856	16,856	18,562	18,565	15,397	12,040	15,393	18,326	192,988
2021(R3)年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
感染者数	113	92	15	293	671	193	31	1	0	1,924	3,121	2,649	
来館者数	17,317	17,513	17,204	19,029	19,501	17,385	17,544	17,415	15,434	15,988	11,019	17,345	202,694
2022(R4)年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
感染者数	2,892	2,880	1,416	12,063	25,519	8,781	5,725	12,868	29,818	23,302	4,898	2,453	
来館者数	16,750	17,794	18,392	20,239	21,688	17,387	18,585	18,567	15,456	14,744	12,033	18,164	209,799
2023(R5)年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
感染者数	1,475	519	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
来館者数	17,242	18,030	17,978	21,175	23,035	19,346	20,075	18,533	16,017	11,969	19,911	19,175	222,486
2024(R6)年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
感染者数	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
来館者数	17,740	18,931	19,572	21,574	23,152	21,215	20,270	20,086	17,282				179,822

※感染者数は中国新聞のHP「<https://www.chugoku-np.co.jp/articles/-/137405>」より

※新型コロナウイルス感染拡大の影響で、2020.3から2023.3まで貸出冊数を20冊、貸出期間を3週間に延長した。

※2019.8.19～9.13及び2020.2.10～3.17は天井工事により休館。

